

# アメリカでの研究生生活(カリフォルニア大学デービス校)

2016年4月～2017年3月までUC-Davisで客員研究員をしていました。  
最初は英語での生活や慣れない環境での実験に戸惑いましたが、様々な経験を通し、研究者として成長できたと思います。



# 学園都市デービス(世界的な農業研究拠点)

UC-Davisは農学研究で世界的に有名です。町は農地に囲まれており、前向きに捉えれば勉学と研究には最適でした(娯楽はバーくらい)。



ここに勤務!



町より大きな農地



# トウモロコシ畑の迷路



## 勤務していた建物(UC-Davis)



職場 (Robbins hall)



My desk

いわゆる雑務はほとんどなく、  
実験だけしていました。

また思っていたより実験機器が古い  
ことに驚きました。世界的なラボ  
というのは潤沢な予算と先端機器  
を駆使してデータを出すものだと  
思っていたのですが、こうした状況を  
知り励みになった。

# 主にクルミのタンニン蓄積に関わる遺伝子の機能を解析

## Expression Analysis for JrGGT1&2

Hydrolysable tannin accumulates in pellicle.

アメリカ滞在時の  
仕事(一部)

### Sampling time

1. Mid-August
2. Mid-September
3. Mid-October



### Sampling tissues (n=9)

#### Kernel

#### Pellicle

#### Reference Genes

① 18s rRNA (Cloned)

② lncRNA (not yet)

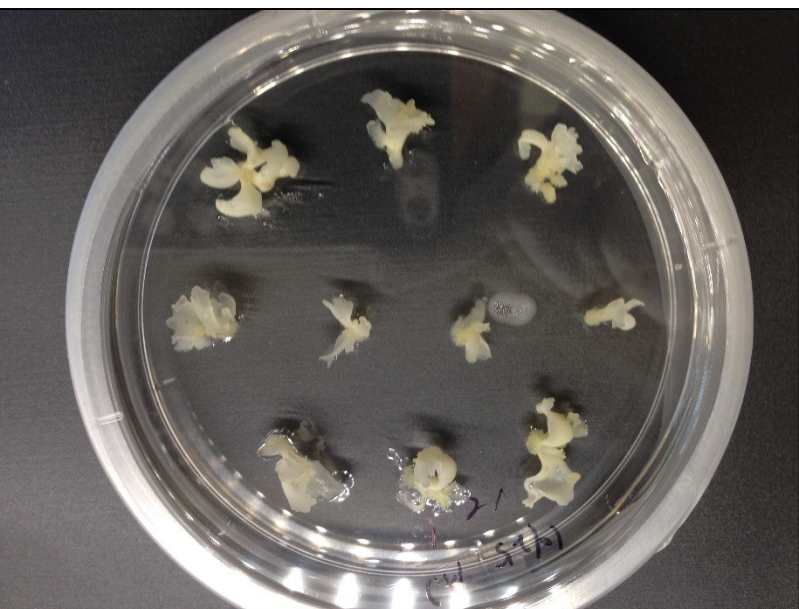
③ Calmodulin (no yet)





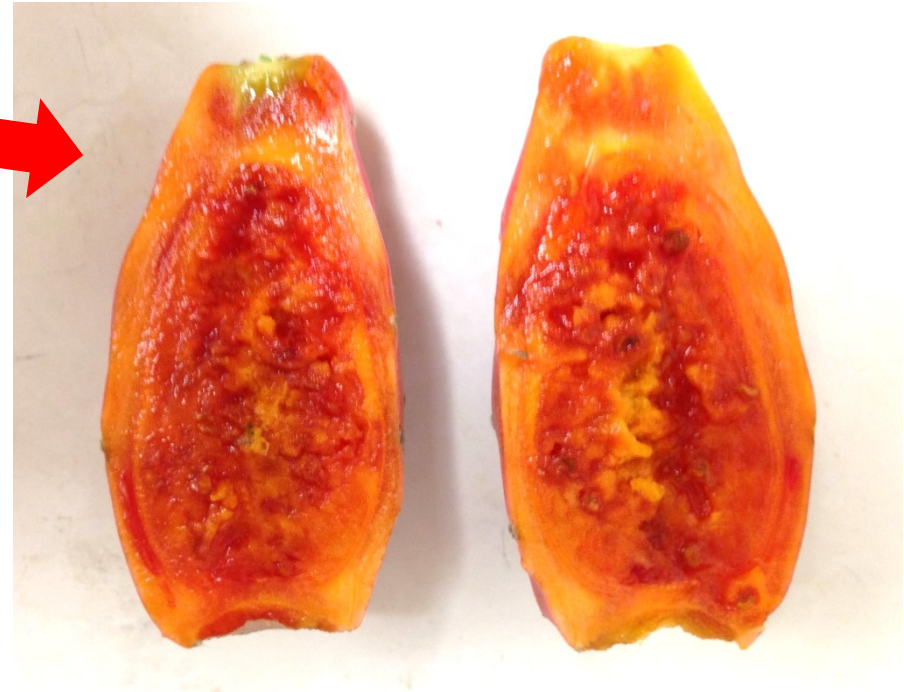
←左から左から  
クルミの胚(子葉)、種子、果実

↓形質転換体の栽培圃場



# +α デービスのサボテン

- ・大学内にはサボテン用の温室が多数。
- ・普通のスーパーでは食用サボテンは見かけない。
- ・大学内や家の庭にはよくウチワサボテンが植わっている。



大学内でウチワサボテンの果実(トウナ)を発見したため採取して試食

→味はカキに似ていたが、種が非常に多い。

市販されている品種は種が少なくなるよう品種改良されているそうです。